

-----4月1日-----

※ 今週のアウトルック (4/1~4/5)

先週は目新しい材料も少ない中、狭いレンジ内の動きとなる通貨ペアが、多かったようです。

今週は、米国雇用統計が注目される中、イタリアの政局の動向も気になります。

リスクオンムードが少し低下している中、突発的な不安要素や、予想外のマクロ指数の発表には十分気をつけたいところです。

ドル円は先週、94円から95円の間狭いレンジ内の動きとなりました。今週の米国雇用統計の結果待ち停滞、という受け取り方も出来ませんが、昨年末から続いたリスクオンムードの、一旦収束という雰囲気も漂っているように感じます。

金曜日の米国雇用統計の発表が予想外に悪かった場合、一度大きく円高に動く可能性も、否定できないように思います。

ドル円の予想レンジは91円から96円です。

ユーロはキプロス情勢の不安が幾分和らいだものの、イタリアの政局不安が台頭してきています。

それほど大きな問題にならないのではという見方が多いですが、現在はネガティブな要因に反応しやすい状況にあるように思います。

米国雇用統計発表時のリスクも合わせて、120円割れの可能性も、考慮しておく必要があるように思います。

ユーロ円の予想レンジは118円から125円です。

ポンドは、ポンドドルの下げ止まりからの折り返しが期待されましたが、まだ、自律反発の域を出ていないように思います。

このまま低迷した場合、再び1.5を割れを目指す状況も考えられるように思います。

ポンド円の予想レンジは141円から145円です。

今週は米国雇用統計の結果を睨んだ展開となりそうですが、

イタリアの政局動向も気になります。

突発的な円買いの動きには注意が必要です。

**\*免責事項\***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。